

【ASF 仏文カフェ@オンラインプログラムその①】

111年の時を超えて

～日露戦争時の写真に見る日露友好の記憶～

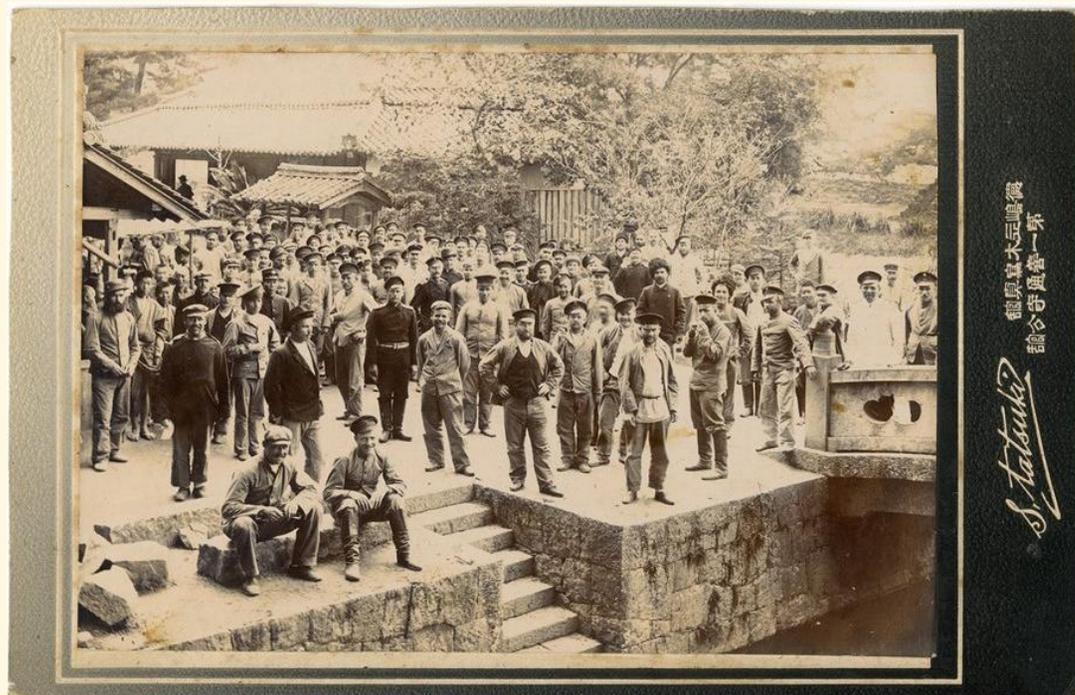
2021年

5/30(日)

10:00～11:30

日露で114回講演した内容を

zoom開催！



(左)ロシアからメールで突然送られてきた、日露戦争時のロシア兵俘虜の集合写真。



(右)戦時中にも関わらず、日露兵士のツーショット写真。のちに歴史的発見の一枚だったことが判明する。

2016年1月のある日、徳島の立木写真館に、突然ロシアからメールで送られて来た数枚の写真。それは日露戦争時(1904～05年)に香川県善通寺で撮影された、ロシア兵俘虜(ふりょ)たちの写真だった……。

台紙にあったネームから、立木写真館の撮影であることが判明。その後、調査を進める中で、当時俘虜たちは想像以上の人道的な扱いを受け、近隣の住民や日本兵と交流していたことも分かって来る……。

国と国は戦争をしていますが、個人的には憎しみを持っているわけではない。写真の発見とともによみがえる戦時下の友好の記憶。本当にあった奇跡の実話を、私の感動体験そのままにお伝えします。一世紀を凝縮した90分の時間旅行を、ぜひ一緒に！



たつき
立木さとみ

立木写真館1883 代表
徳島ソフィア会 会長

1883(明治16)年創業の徳島市・立木写真館に、5世代目として1960年に生まれる。祖母・香都子は1980年NHK朝ドラ「なっちゃんの写真館」のモデル。上智大学文学部仏文科卒業後、マドラ出版入社。天野祐吉・島森路子両氏の元で、月刊誌「広告批評」の編集・「広告学校」の企画運営の他、単行本の編集やイベント企画にも携わる。1993年、父の急逝に伴い帰郷し、実家の立木写真館に入社。1999年、徳島青年会議所で四国初の女性理事長を務め、以後、行政・企業・団体の各種委員も歴任する。2006年、写真集『いんどり～おばあちゃんたちの葉っぱビジネス』を自費出版。現在は個人事務所「立木写真館1883」代表として、写真のチカラや大切さについての講演・執筆などを中心に活動している。

●ZOOMミーティングID: 843 1862 6660 パスコード: 500069

※zoomの入りが分からない方は、URLをお送りしますので、お気軽にお申し出くださいませ。

●②13:30～15:30トークセッション ③16:00～17:30パネルディスカッションにも
同じID・パスワードでお入りいただけます。